

12 つくる責任
つかう責任

2 飢餓を
ゼロに



もったいないから
ありがとうへ



ANNUAL REPORT

5期 / 2020.12.1~2021.11.30





ごあいさつ

セカンドハーベスト京都は2015年の設立から6年目を迎えました。

設立当初、団体に必要なものとして、

1. 団体の認定 NPO 法人化
2. スタッフ常駐事務所の設置
3. 職員の採用

の3つを望んでいましたが2021年中に、おかげさまですべての条件を揃えることができました。

ご支援、ご協力頂きました皆様には心より感謝申し上げる次第です。

セカンドハーベスト京都もようやく、草創期を越え成長期に入ってまいります。これは、「もっと多くの支援の必要な方々へ」支援を届けられる力をつけていくことを意味しており、また、食品ロス削減の波を拡大していくことにもつながっていくと信じております。

昨年は災害級の感染症で多くの人々がダメージを受けるなか私どもへの社会的ニーズは更に大きくなっていることを実感した1年でもありました。

食のセーフティーネット、経済的理由などにより食に困る人がなくなる仕組みを京都府内に創っていく、との初心を忘れずに歩んで参りますので、引き続きご支援ご協力のほど、宜しくお願ひ申し上げ、

ご挨拶とさせて頂きます。

2021年12月吉日

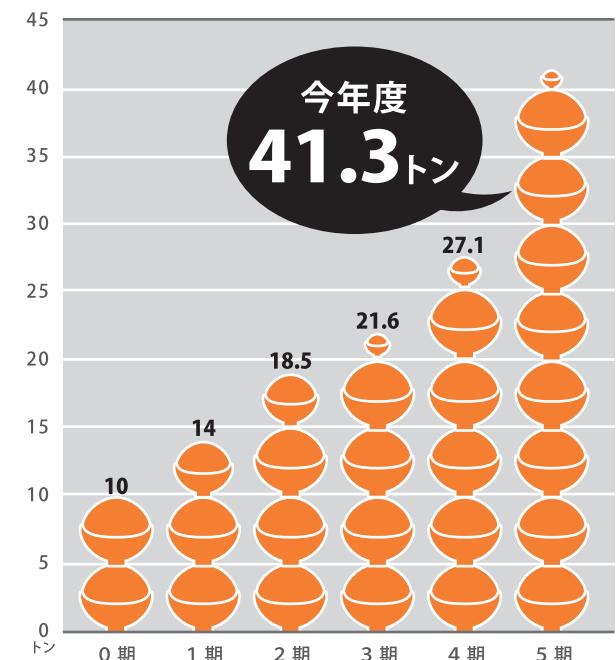


認定NPO法人 セカンドハーベスト京都
理事長 澤田政明

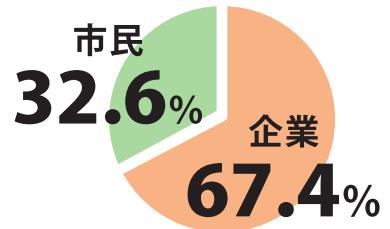
数字で見る 2HK

認定NPO法人セカンドハーベスト京都は、2015年の団体設立から6年が経ちました。
支援をしてくださる皆さんのおかげで活動の幅を広げてきました。

取扱食品量



寄贈食品の内訳



寄贈団体数



倉庫へお届け頂いた件数



承諾書締結(提供)団体数



アクティブボランティア数



「まだ食べられるのに捨てられる」食品ロス量は、年間570万トン。
京都府だけでも13万～15万トン。

一方で、日々の食事が十分でない人たちがいます。

活動から見る 2HK



もったいないからありがとうへ
必要としている人のもとに食べ物を届ける

フードバンク団体である、認定NPO法人セカンドハーベスト京都の活動内容です

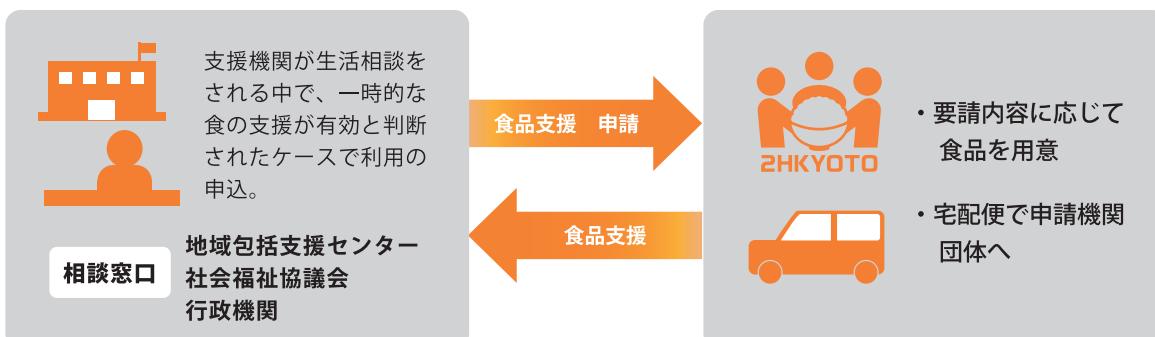
フードバンク事業 毎週2回

企業や市民から未利用の食品の寄贈を受け、福祉施設やフードパントリー運営団体にお届けします。



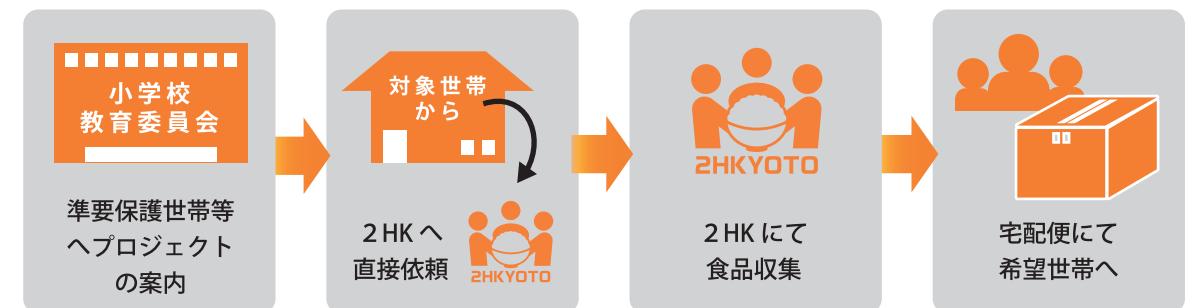
食のセーフティネット事業 要請毎に随時

福祉事務所や社会福祉協議会などからの要請で生活に困窮されている方々への食品をご用意します。



こども支援プロジェクト 年3回

夏休みなどの長期休暇、希望された就学援助受給世帯に食品を宅配便で届けます。
(学区限定)



食品ロス削減啓発事業

要請毎に随時

「食品ロス削減のための出前授業」を小中学校をはじめ地域団体に対して実施しています。



フードパントリー事業 每月1回

新型コロナウィルスの影響下で生活困窮されている方々のために府内3箇所で申込のあった個人に、直接食品をお渡ししています。





食品を福祉施設や生活困窮者支援団体にお届けするほか、規格外野菜の定期集荷も行っています。

京都府、大阪府、滋賀県の57団体の延べ22,876人に
(フードバンク団体への提供は除く) 食品を届けました。



配送先

DV 被害者支援	1 件
フードバンク団体	4 件
フードパントリー	13 件
外国人支援団体	1 件
行政	7 件
こども食堂等	15 件
児童養護施設	5 件
社会福祉協議会	3 件
電話相談団体	1 件
自立援助ホーム	1 件
生活困窮者支援団体	2 件
生活支援施設	1 件
地域包括支援センター	1 件
ひとり親支援団体	1 件
母子生活支援施設	1 件

走行距離(年間)
10,897 km

2021年11月19日
京都新聞

規格外野菜 困窮家庭に



ご家庭の未利用食品を各所に設置したフードボックス
(食品寄贈用ケース)で集めます。

京都生活協同組合様、㈱島津製作所様、オムロンヘルスケア㈱様、ローム㈱様など企業団体でのフードドライブの協力先もSDGsの取組の一環という位置づけで増加しております。
また大学や小学校などでも取り組んで頂いております。

実施件数(年間) 173件 寄贈総量(年間) 5,413 kg



食材を集める お届けする

たくさんの方々の愛と想いに支えられています





CHILDREN こども支援プロジェクト SUPPORT PROJECT

給食がない休み中が不安…
そんな家庭を少しでも減らしたいから



「夏休み明けに瘦せて登校てくる子供がいる。」

学校の先生のお話を伺ったのがきっかけで2HKは西日本で初めて、教育委員会や学校の協力を得て、学校給食のない長期休暇中に就学援助受給世帯のうち希望する世帯に宅配便で食品を届ける取り組みを始めました。
長期休暇中「お腹が空いてツライ」という子どもを一人でも減らすために対象地域も更に拡大してまいります。

合計支援人数
5,126人
(こども 3,009人)



2021年7月18日
京都新聞

冬休み向け (2020年12月)

出荷件数：393世帯 支援対象の子どもの人数：900人

春休み向け (2021年3月)

出荷件数：391世帯 支援対象の子どもの人数：898人

夏休み向け (2021年7月)

出荷件数：529世帯 支援対象の子どもの人数：1,211人



途方に暮れていたので
インターフォンが鳴った時、「助かったー」と真剣に思いました。

仕事を辞めざるを得なくなり困っていましたが、支援が届き、子どもと「何とかなりそうだね」と話していました。

今年は、おもちを買えない正月でしたが、箱の中に入っていたおもちに家族全員が大喜びでした。いつも助けてくださり感謝しています。

子どもが火を使わずに調理できるものや、缶詰めなども多く、親の留守中にも食べられるので助かりました。





FOOD PANTRY

フードパントリー

新型コロナウイルスの影響で 経済的にお困りの方々に
食品を直接お渡ししています



新型コロナウイルスの影響等で生活に困窮する方々が増加している中、当時、府内に有力なフードパントリー団体がなかったということもあり 2 HK が協力団体と一緒に府内 3箇所で毎月実施しています。

実施回数　述べ 21 回
配布人数　451 世帯 (930 人)

共催

一般社団法人 MUSTARD SEED クリスチャン教会 京都様（中京区）
認定特定非営利活動法人 happiness 様（南区）
ひろのこども食堂様（宇治市）

協力

宇治ボランティア活動センター様（宇治市）



2021年2月28日 京都新聞

アルバイトがなくなり収入が減った一方就活の出費がかさんで苦しんでいます。今回支援を頂いたことでこの苦しみが軽くなったと感じています。

女の子が2人いるので、生理用品が助かりました。歯磨き粉などもすごく嬉しいです。大変な中ありがとうございました。

実施後の声



失業後社会人学生になり、資格取得を目指しています。私自身貯金を切り崩す日々で不安ですが、留学生の皆さんは母国に帰れずアルバイトも制限されとても苦しそうです。

食事もまかないが主だったため、シフトと共に食事も失ってしまって途方に暮れています。本当に助かりました。

東京で毎週実施されていたフードパントリーでは、若い人に加え経営者層も並んでおられたりしているのが、リーマンショックの時との違いらしく、また、回を重ねるごとに列にならぶ人が増加しているという報道に接し、2月より実施しました。当初はアルバイト先でシフトを削られたり、休業になったりということで一人暮らしの学生さんがほとんど、という時もございました。

今後は経済的に苦しい方々全般を対象として、可能な限り継続してまいります。





FOOD SAFETY NET

食のセーフティネット

食品支援を通して支援機関が関係性を構築され
利用者の孤立を防止し
明日、食べるものが無いという状況にある人々を
支えるために



福祉事務所や社会福祉協議会などで生活相談を受けられた方のなかには、その段階でお金も食べ物もほとんどない状態でこられる場合があります。

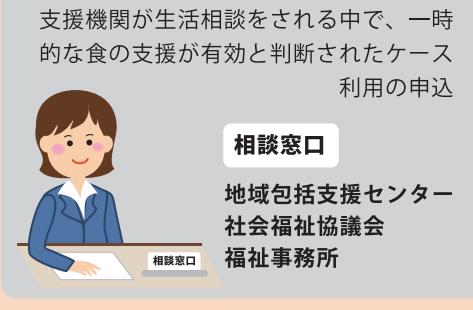
そのような状態の場合、生活保護や生活福祉資金の入金までの期間を過ごして頂く緊急的な支援として2HKは支援機関の要請を受け食品をお届けします。

要請件数 80 件
対象人数 265 人

生活保護・生活福祉資金が入金されるまでの緊急的な支援を行います

生活相談

支援機関が生活相談をされる中で、一時的な食の支援が有効と判断されたケース
利用の申込



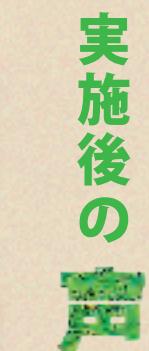
支援食品用意

宅配便で申請機関団体へ



正直、めちゃめちゃ助かりました。友人で困っている人がいたら絶対に教えてあげたいと思いました。

母子家庭のうえ、子ども2人が障害を持っていて、なかなか長時間働きに出ることが出来ません。コロナで更に仕事が減り、とても困っていたので助かりました。



現在、生活保護申請中で
所持金が殆どなく非常に
助かりました。

箱の中をのぞきながら、「お母さん、これどうしたの!?」と言った子どもの輝いた目を忘れることができません。今回の支援に感謝し、またがんばろうと思いました。

今期は新型コロナの影響を受けた利用者が多い一方で、自治体によっては「生活資金貸付」や「住居確保給付金」制度などの利用で食の支援には至らなかったケースが増加し、全体としては微増に留まりました。

■ 現在の対象区域

府内 26 自治体のうちカバーできているのは
11 行政地域で、それ以外からの支援要請が
入った際にアウトリーチの手段がないため支
援が届けられない状況にありますが、長らく
課題であった京都市でも 2022 年早々から
スタートすることになり、食のセーフティネ
ット事業も大きく前進します。

現在カバーできている行政地域

伊根町 南丹市 亀岡市
向日市 久御山町 八幡市
宇治市 城陽市 井手町
宇治田原町 京都市下京区





FOOD LOSS REDUCTION PROJECT

食品ロス削減事業【出前授業】

まずは、知ること。そして、周りの人に伝えること
少しずつでも、「食品ロス削減」の輪が広がるように



食品ロス問題・環境問題・貧困問題・SDGsなどの様々な問題は、つながりあっています。

フードバンク活動をしている2HKだからこそ伝えられる想いがあります。今自分にできることを一緒に考える機会になることを願っています。

- 2021/01 京都市立 京北小学校 6年生
- 2021/06 京都市立 待鳳小学校 5年生
- 2021/06 京都市立 鞍馬小学校
- 2021/08 京都友の会西山方面 夏の勉強会

2019年10月の授業開始から、計9校・21クラス、計8団体で実施いたしました。食品ロス削減の輪を広げるため、より多くの皆さんに受講して頂けるよう体制を整えてまいります。



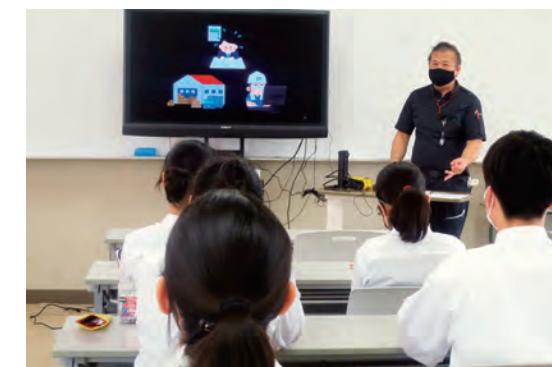
実施後の声

食品ロスに対する意識が変わりました。ほかの友達も食品ロスの見方が変わったらしいです。

日本だけでも食品ロスを減らせたら、世界にかかるエネルギーのムダも少し減ると思います。多くの人が食品ロスをなくそうと意識することによって未来に見える世界が今と変わってくると思いました。

新型コロナの影響で実施数が大幅に減りましたが、少ない中でも「食品ロスの実態を実際に立ち会っている人から聞けた非常によい経験になりました」「自分の家族に言ってみようと思った」「消費期限や賞味期限の違いを知ってよかったです」「食品ロス削減のために自らできることはたくさんあって実行してみようと思った」「今回を期にボランティアをしてみたいと思いました」などなど、着実に食品ロス削減の波を起こせていると感じております。

また、自分事として捉えるために、分かりやすく楽しい授業を目指しています。



ボランティアの声



コロナ禍で時間的余裕ができ、社会貢献活動を探していた中で2HKさんと出会いました。さっきまで陳列されていたパン(商品)が、閉店後にはゴミになり値がつけられない。どちらの時点でも食べ物のはずですが、この違和感はどうでしょう…。「大量生産大量廃棄の直線的経済」から「持続可能な循環型経済」へ。消費者としての責任を意識することが、解決の第一歩と考えます。

阪本貴洋さん (30代自営業)

活動に参加して、食品ロスの原因の約半分は買いすぎや期限切れ等の家庭系だと知り、とても身近な問題だと感じました。

今SDGs達成に向けた企業の取組み等をよく目にしますが、他人事ではなく自分事として捉え、普段の消費生活からロスをなくせるよう心がけたいです。

大川沙織さん (大学4回生)



そのままでは捨てられる食べ物を必要とする人へ。「もったいない」の精神を形にしたフードバンクの活動に共鳴し参加しています。誰もが少なからず不安を抱えた暮らしを強いられる中、少しでもお腹を満たして心もホッとひと息つけるお手伝いになれば嬉しいです。

塩満久美子さん (50代主婦)

2HKに出会う前に、理事長の澤田さんに出会いました。とてもパワフルで愛溢れる人柄は今も変わりません。初めてこども支援プロジェクトに参加したとき、食材を受け取った時の子どもたちの顔が浮かびました。ボランティアを通して、知らなかつた世界を知ることが出来ます。まずは、知ることから。それが私たちに出来ることだと思います。

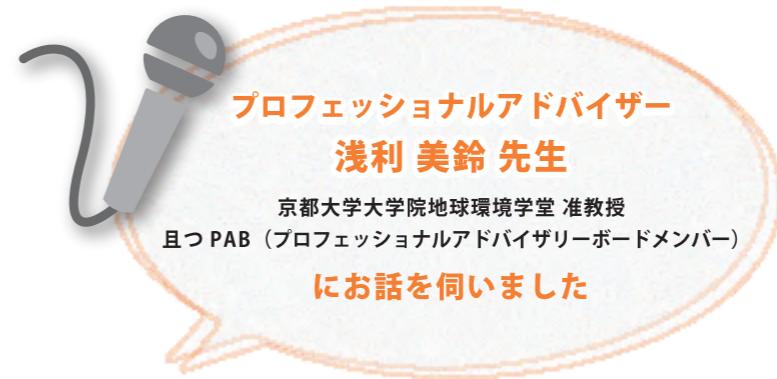
岸さゆりさん (20代教員)



私は食に関心があり大学では食品ロスについて学んでいます。フードバンクの活動に日々関心があったので、就活が終わり時間に余裕ができたのを機に2HKでボランティアを始めました。

実際に働いてみて授業や論文では知り得ない新たな学びがあり充実しています。

三宅祥太朗さん (大学4回生)



Q 印象的な思い出はありますか?

A 一度、理事長の澤田さんとフードバンクの一連の活動にご一緒したことがあります。車の中で澤田さんのお話を聞きました。澤田さんの粘り強く、信念を持って活動を続ける姿がとても印象的でした。

Q 食品ロス問題についてのお考えをお聞かせください。

A 日本には無駄を生んでいるシステムがあります。企業は出す必要がない廃棄を出してしまっています。企業には更なる管理が求められるでしょうし、個人単位でも食品ロスを減らす協力者になることはできます。まだ出来ることはあると思います。2HKの活動を通して、食品ロスや貧困の問題を知ることが出来ます。そして、初心を忘れることなく、出来ることを続けていきたいです。

Q 2HKの今後についてメッセージをください。

A まず、感謝の気持ちがあります。静脈物流※が注目されていますが、それと同じくらい今後はフードバンクのような「福祉物流」が必要になると考えています。2HKは、そのハブ的な存在として、社会を牽引して欲しいです。寄付や発信以外でもなにかお手伝いできることがあれば何でも言ってください。

Q 2HKを支援してくださっている方にメッセージをください。

A 行政に頼りきりになるのではなく、みんなで力を持ち寄っていきたいです。これからも2HKへの支援を続けるだけでなく、どんどん仲間を増やしていきましょう。そして、私自身、2HKをもっと助けられる存在になりたいと考えています。是非、一緒に頑張っていきましょう。

2021.10.24 取材

※生産側から消費側へ向かうモノの流れとは逆方向の物流のこと、リサイクルなどを指すことが多い

浅利 美鈴 先生

京都府出身。京都大学大学院地球環境学堂准教授。「ごみ」が研究テーマ。京都大学のエコキャンパス化にも取り組む。また、「びっくり!エコ100選」や「3R・低炭素社会検定」「びっくりエコ発電所」「エコへるど京大」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく、環境教育や啓発活動・情報発信にも力を注いでいる。





■ 助成・寄附

えんの会
キヨウキミカブシキガイシャ
サンケイデザイン株式会社
一般社団法人 MUSTARD SEED クリスチャン教会 京都
株式会社 ecommit
株式会社ナベル
株式会社京都放送
株式会社博報堂食育等推進事務局
京都トップスワイズメンズクラブ
京都市
京都府公立大学法人

■ フードドライブ協力企業・団体

コープさがの
コープパリティ
コープ山科新十条
コープ祝園駅
コープ城陽
コープ醍醐石田
コープ男山
コープ桃山
コープ二条駅
精華町役場
京都市右京区役所右京エコまちステーション
京都府
ローム株式会社
株式会社パソナ
株式会社京都放送 (KBS 京都)
株式会社松風

(順不同・敬称略)

京都友の会西山方面
公益財団法人 SOMPO 福祉財団
公益財団法人社会貢献支援財団
公益財団法人京都オムロン地域協力基金
公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
公益財団法人京都地域創造基金
社会福祉法人宇治市社会福祉協議会
障がい者就労継続支援 A 型事業所ロワール
弁護士法人伏見総合法律事務所
個人の皆様

■ 食品提供企業・団体

コストコホールセールジャパン株式会社 京都八幡倉庫店



コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社



三洋化成工業株式会社



株式会社島津製作所

オムロン株式会社

角井食品株式会社

京阪ホールディングス株式会社

明治ホールディングス株式会社

株式会社松風

一般財団法人日本非常食推進機構

株式会社ローソン

株式会社 SCREEN ホールディングス

イオンリテール株式会社

イオン伏見プラザ店

(順不同・敬称略)

石井食品株式会社



経済産業省 近畿経済産業局



内閣府 迎賓館京都事務所

株式会社天塩

養命酒製造株式会社

株式会社大気社

公益財団法人社会貢献支援財団

ソフトバンク株式会社

IQVIA サービシーズジャパン株式会社

洛和会ヘルスケアシステム

JFE エンジニアリング株式会社

株式会社リーフ・パブリケーションズ

株式会社クラダシ

イートランド株式会社 西日本事業部

関西事業所

カルゲン製薬株式会社

丸文株式会社

他匿名企業 4 社と多くの個人の皆様